2021

科学技術
イノベーション政策・
経営人材養成
短期プログラム

履修証明プログラム

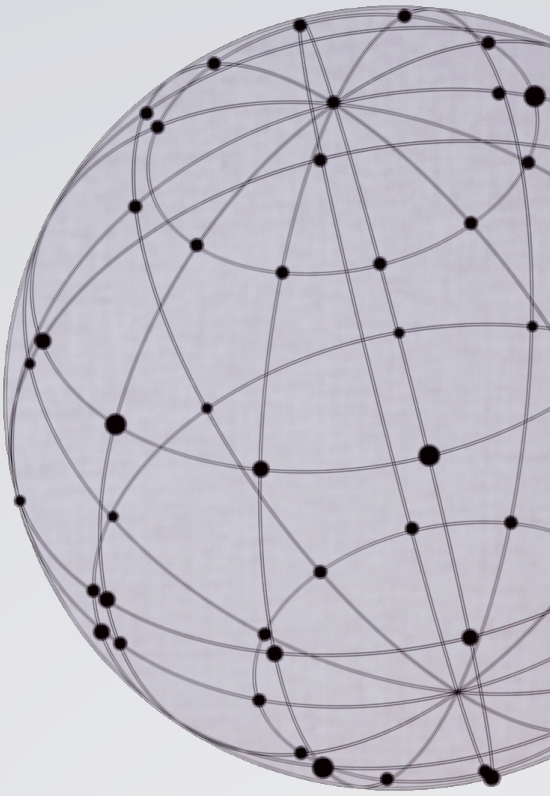
Photo: Masao Nishikawa

GiST GRIPS Innovation, Science and Technology Policy Program

GRIPS 政策研究大学院大学 NATIONAL GRADUATE INSTITUTE FOR POLICY STUDIES

政策研究大学院大学
科学技術イノベーション政策プログラム

目的



科学的な
アプローチを学び、
実務を捉えなおす

「科学技術イノベーション政策・経営人材養成短期プログラム」は、科学技術イノベーション政策や研究開発戦略の分析、企画・立案、運営、評価に必要な知識と方法の基礎を学修できる社会人向けの履修証明プログラム（※）です。

近年、科学技術政策はイノベーション政策と一体化し、研究開発活動の促進や基盤形成から、技術シーズの事業化やイノベーション創出までを視野に入れた統合的な政策・経営が求められるようになっています。さらに、エビデンスに基づく政策立案（EBPM）の重要性が認識される中で、様々な分析等に基づいて政策立案や評価を行うことへの要請も高まっています。

そこで、本学では科学技術イノベーションにかかる政策や経営の現場に携わる方々に対して、基礎的な理論と実践的なスキルの両面を学ぶことができる短期プログラムを開講することとしました。講師陣には、本学教員に加えて、経験豊かな実務家をお招きして、現場で直面している課題に関する理論と実践を学ぶ機会を提供します。

※本プログラムは、学校教育法の履修証明制度にそって社会人などを対象に、3つの授業科目をパッケージ化した学修プログラムで、修了者には履修証明書を交付します。また、本学修士・博士課程の正規授業科目であり、科目等履修生制度を活用することで、単位認定をします。正規課程に進学した場合には、所定の手続きを経ることで、単位の移行が可能です。

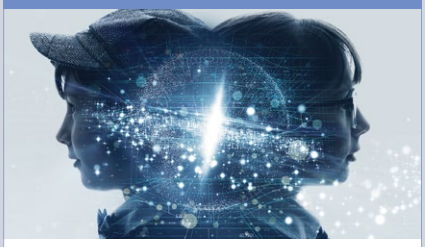
対 象

- 国の科学技術イノベーション政策に携わる中央省庁の行政官
- 研究開発の実施や資金配分を担う組織で企画立案や評価などのマネジメントに携わる職員
- 地域において科学技術イノベーション関連の政策に携わる地方自治体職員
- 大学で研究開発のマネジメントに携わる教職員やリサーチ・アドミニストレーター（URA）
- 企業や非営利組織において研究管理やイノベーション創出に携わる担当者
- その他、科学技術イノベーション政策に関心があり、実務や研究に携わる見込みの者や、本学修士・博士課程への進学を検討している者

CONTENTS 教育内容

「科学技術イノベーション政策・経営人材養成短期プログラム」を構成する3つの授業科目

科学技術イノベーション政策概論



世界的に大きな転換期を迎えている科学技術イノベーション政策の最新動向を紹介するとともに、それらを理解し実務に活かすために必要な基礎的な理論を学びます。

- 科学技術イノベーション政策の理論
  科学政策、産業・イノベーション政策、デマンドサイド政策 など
- 日本の科学技術基本計画
- 海外における科学技術イノベーション政策
- 分野別の政策及び研究動向
- 科学技術の社会的ガバナンス
- 科学技術と安全保障・外交

公的機関からのイノベーション創出

大学等の研究成果を事業化し、社会課題解決につなぐ支援方策について理論と事例から学ぶとともに、支援政策のビジネスモデル開発演習を行います。

- 技術シーズの形成と移転
- 起業促進、VC、アクセラレータ
- オープンイノベーション
- ソーシャルイノベーション
- ビジネスモデル開発の理論と演習
  事業化支援戦略の立案 など

科学技術イノベーション政策立案演習

フォーサイトによるビジョン形成やロジックモデルを用いた評価など、エビデンスに基づく政策形成とその効果測定に必要な手法を演習形式で学びます。

- エビデンスに基づく科学技術イノベーション政策立案概論
- フォーサイト演習
  ホライズンスキャン法、シナリオ分析法、バックキャスト法 など
- 評価演習
  評価のデザインと方法、ロジックモデル など

期待される学修成果

1. 科学技術イノベーション政策の現状、イノベーション創出の支援方策、政策形成や評価などのエビデンスに基づく意思決定の方法についての理解を得る。
2. イノベーションを実現するための主たる要因を踏まえた政策形成を行うことができるようになる。
3. 現在の国内外の政策課題を踏まえて、各自の環境における政策形成を行うことができるようになる。
4. 政策形成や評価のツールを用いて、自ら政策形成や政策の有効性を検討することができるようになる。

LECTURERS 講師陣

林 隆之

科学技術イノベーション政策プログラム
ディレクター /
教授

専門分野
科学技術政策、科学計量学、
高等教育政策、評価

隅藏 康一

科学技術イノベーション政策プログラム
副ディレクター /
教授

専門分野
知的財産政策、科学技術政策

根井 寿規

科学技術イノベーション政策プログラム
副ディレクター /
教授

専門分野
エネルギー政策、原子力安全政策、
地域産業政策

鈴木 潤

教授

専門分野
科学技術政策、イノベーション経営

飯塚 倫子

教授

専門分野
途上国における
科学技術イノベーション政策

角南 篤

学長特別補佐 /
客員教授

専門分野
科学・産業技術政策論、公共政策論、
科学技術と外交

有本 建男

客員教授

専門分野
科学技術政策、科学的助言、
科学と社会の関係

上山 隆大

客員教授（内閣府総合科学技術・
イノベーション会議 有識者議員）

専門分野
科学技術政策、科学技術史、公共政策、
イノベーション政策、アメリカ研究、
高等教育論

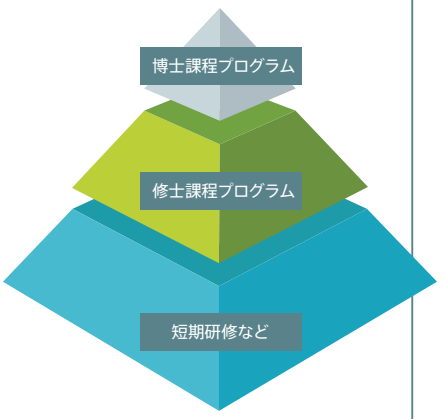
七丈 直弘

客員教授
（一橋大学経営管理研究科
経営管理専攻教授、商学部教授）

専門分野
科学技術政策、未来洞察、
計算材料科学

修士・博士課程コースの紹介

本学は、政策に関わる研究と教育を目的として、1997年に設立された国立の大学院大学です。「科学技術イノベーション政策（STI）プログラム」では、多様な学問分野の知見を統合して、社会的課題を的確に捉える能力を有し、科学的なアプローチを用いて、科学技術イノベーション政策の企画・立案、実行、評価、修正を行うことができる人材を育成するため、博士課程、修士課程を含む総合的な教育プログラムを提供しています。



https://gist.grips.ac.jp/

修士課程プログラム　標準修了年限2年※、4月入学

● 想定される学生	中央省庁、地方自治体、科学技術イノベーション政策関連の職員、URA、企業のイノベーション戦略担当など
● 学位	修士（公共政策）/ Master of Public Policy

博士課程プログラム　標準修了年限3年、4月または10月入学

● 想定される学生	主として国内外の中央省庁および関連機関の幹部候補、将来の研究・教育職志望者、国際機関職員、大学・研究機関・企業の企画運営に係る者など
● 学位	博士（政策研究）/ Doctor of Policy Studies 博士（公共政策分析）/ Ph.D. in Public Policy ※Ph.Dは研究者向け、Doctorは行政官等の実務者向けです。

実務から生まれる問題意識を政策研究として探求

科学館やファンディング機関で仕事をしてきたことから、科学と社会の関係に関心があり、国内留学制度を活用し進学を決めました。他大学と比較しましたが、GRIPSのSTIプログラムは、開発経済学、公共政策、外交など幅広い分野から構成されていたのが魅力でした。論文や学術機関について、今どういうデータが利用可能で誰がどのような分析をしているのかといった土地勘を得られたのは、現在の業務でも役立っています。在学中は、科学研究の多様性に着目。ファンディングプログラムの性格や規模が、研究の多様性にどのような影響を与えているのか分析し論文にまとめました。

嶋田 義皓さん　科学技術振興機構　2018年6月 / 博士課程修了

イノベーション政策の実装に向けて学びを重ねる

私は学生時代、電気、回路、半導体といった"モノづくり"を学び、経済産業省に入省しました。12年目になり、実務においてもより大きな仕組みづくりや経済に関する知識が必要と感じ、職場の国内留学制度を使ってGRIPSに進学しました。STIプログラムの魅力は、科学技術イノベーションに特化したカリキュラム構成になっていること。また、海外経験豊かな先生方が多く、政策に関する知識やバックグラウンドもお持ちであることです。ここで学んだことは、技術シーズの活用のみならず、イノベーションをどう捉えるかなど、政策の変化に対応できる広い思考の養成につながりました。

小笠原 憲二さん　経済産業省　2019年9月 / 修士課程修了

誰もがテクノロジーの恩恵を享受できる社会を目指して

新卒で外資系IT企業に就職し、営業やCSRを経験。仕事を通して、テクノロジーの恩恵を十分に享受できない人がいることを実感し、社会のために技術を活かしていく仕組みについて考えるようになりました。学生時代から国際交流をやってきたことから、科学技術と新興国開発を学べる修士課程を探し、STIプログラムを見つけました。授業では科学技術イノベーション政策一般の他、開発経済学、SDGsなど幅広く学ぶことができます。また、留学生が多く、私の研究フィールドの現状について議論ができるのも魅力の一つです。修了後は、国際機関や企業で、課題解決に繋がるイノベーションを生み出す仕事をしていきたいです。

伊藤 千晴さん　元外資系IT企業　2020年6月 / 修士課程修了

INFORMATION 募集内容

■ 開講スケジュール(予定)

春学期後期　※7月10日(土)、7月17日(土)は、5限(16:40-18:10)も講義を実施予定　※7月24日(土)は予備日

2021年 6月5日～7月17日 土曜日	1限 (9:00-10:30)	2限 (10:40-12:10)	3限 (13:20-14:50)	4限 (15:00-16:30)	5限 (16:40-18:10)
	公的機関からのイノベーション創出		科学技術イノベーション政策概論		――

夏学期

2021年 8月7日～8月9日の 3日間集中講義	1限 (9:00-10:30)	2限 (10:40-12:10)	3限 (13:20-14:50)	4限 (15:00-16:30)	5限 (16:40-18:10)
	科学技術イノベーション政策立案演習				

■ 定員数

20名

■ 受講料等

検定料：9,800円　受講料：114,600円

■ 募集期間(出願期日)

2020年12月10日(木)～2021年1月29日(金)【予定】

■ 詳細・問合せ先

https://gist.grips.ac.jp/education/shortprogram.html

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策プログラム
履修証明プログラム担当

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
e-mail：gist-certpg-ml@grips.ac.jp
TEL：03-6439-6044

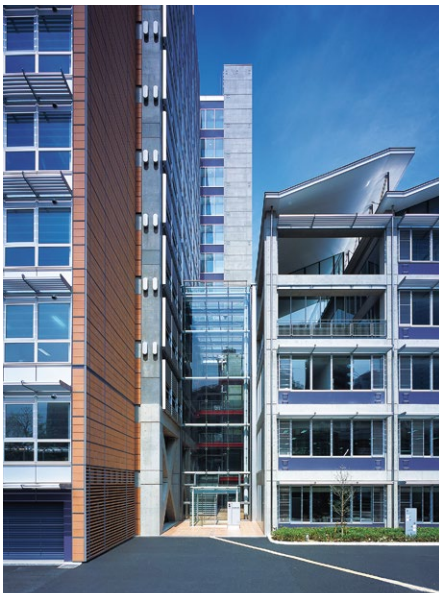


Photo: Masao Nishikawa